

筑波研究学園都市研究所・大学関係 9 条の会

## 9 条の会 ニュース

NO. 6 2006. 5

名称：筑波研究学園都市研究所・大学関係 9 条の会

郵便振替口座番号：00120-4-501101

発行責任者：茅野徳治：TEL / FAX 029-857-6593

〒 305-0023 つくば市上の室 1829-1

### - 経団連が旗を振る9条改悪 -

岡田安正 (元電子技術総合研究所)

日本経団連は「わが国の基本問題を考える」(200.1.18)で、憲法の9条を変えろと要求している。その中で、科学技術に関して次のように言っている。

「わが国ではこれまで、平和主義の観点から、防衛関連の科学技術と他の科学技術とを区分して扱う傾向にあった。今後、国家目標である国際社会への主体的な関与(著者注：米の要求である軍事的パートナーとなれということであろう)という観点から、科学技術面においても防衛、民生の垣根を超えて、国民の安心・安全の確保や国際平和の実現(著者注：米のイラク戦争のように、目下の同盟者としての軍事的参加に他ならない)につながる取り組みを進めるべきである。これに関連し、最先端技術の防衛目的での活用を制限している宇宙の平和利用原則や武器輸出三原則は、わが国の先端科学技術発展の観点から、見直しやさらなる緩和が必要である。」

これまでも、小泉内閣は、経団連の要求を郵政民営化、税制の改悪など忠実に実現してきた。したがって、科学技術に関する上記の要求の実現は次の日程に上がってくるであろう。「安心・安全」「国際平和」という耳障りのいいキーワードが、科学技術の軍事化を表すようになった。

これに呼応して、同年6月に総合科学技術会議は「第三期基本計画策定に向けた基本方針」を出したが、「安全と安心」の問題に「安全保障・危機管理」を位置付けている。

これらの動きは、憲法9条改悪と軌を一

にするものであり、9条の歯止めをなくすことにより科学・技術の軍事化が一気に加速、現実化するであろう。歴史を振り返ってみると、常に、その時代の先端的科学技術は戦争に用いられたが、その結果は、大量無差別殺戮のエスカレートであった。現代はその極限状態になっていて、戦争そのものをなくさなければ人類の生き残る道は無い。科学・技術者の社会的責任として自らの創造物が、新たな規模で殺人を引き起こさないように、憲法9条の精神を輝かせねばならない。

筑波研究学園都市では研究所・大学が法人化されて、それぞれは一層、本省の官僚に支配され、自律性が犯されている。そういう研究所の体質は、「防衛、民生の垣根を超えて、」「最先端技術の防衛目的での活用を」受け入れざるをえなくなるであろう。こういう時、研究所・大学関係者の憲法9条を守るという願いを広く国民に伝えるために、「筑波研究学園都市研究所・大学関係9条の会アピール」を発したことは、極めて大事なことと思う。

憲法9条は  
日本の進路、世界の宝です

憲法9条を守りましょう

# 軍事研究の歴史など報告

## 科学者9条の会が集い

つくば

「科学者にとっての憲法九条を考える」と題した講演と対話の集いが二十三日、つくば市大穂公民館で開かれ、市内の研究機関で働く研究者が、軍事研究と研究者の関わりを歴史などについて報告。「全建労働地理支部」の山根清一さんは、国土地理院の歴史を振り返り「測量技術者が心血を注いで作った地図が、二度と国民を戦地に導くための道具とならないよう、改憲の動きに反対していきたい」などと決意を語った。

つくば市内の研究学  
や大学で働く研究者な  
どでつくる「筑波研究  
学園都市研究所・大学  
関係九条の会」（茅野

徳治代表が主催した。  
山根さんは「国土地  
理院は戦前、陸軍陸地  
測量部として軍事優先  
の地図作りを行った」



世界平和に果たすべき科学者の社会的責任について  
話す河井智康さん＝つくば市大穂公民館

と語り、「戦後も米軍の要請で特殊な日本の地図を作ったり、防衛庁用の地図を作成。最近スペースシャトルを使った米軍への技術協力や、情報収集衛星関連施設を構内に設置するなど、軍事との関わりは続いている」としながら、「戦後の平和憲法のもとでの測量、地図作成技術は、国民の安全と安心のある生活を守ってきた」などと話した。

「KEK（高エネルギー加速器研究機構）九条の会」の和氣正芳さんは、一九九四年にKEKが主催して開か

れた国際会議で、加速器を用いたビーム兵器の開発研究や、米軍から資金提供を受けた研究など軍事研究を拒否する取り組みの成果について報告。「一九八八年に職員の75%が署名して生まれた平和宣言が機能し、軍機関からの資金援助による研究を16%から4・5%に減らすことができた」「軍事研究を行わないという平和宣言の主旨は、現在もKEK施設の共同利用申請書に盛り込まれている」などと話した。

集いでは、元東北区水産研究所部長の河井

智康さんが「科学者と憲法九条の価値」と題して、最近の改憲の動きや、世界平和に果たすべき科学者の社会的責任などについて講演した。

### 科学者の憲法9条を考える

#### 集いに研究者ら80人

つくば

つくば市在住の研究者などでつくる筑波研究学園都市研究所・大学関係九条の会（岡田安正さんから世話人代表5人）が主催する集会「科学者にとって憲法九条を考える」が、同市の市大穂公民館で開かれた。

研究者ら約80人が出席する中、元東北区水産研究所長、河井智康さんが「科学者と憲法九条の価値」と題して講演。河井

さんは、第二次世界大戦中、核兵器開発など科学者が率先して協力してきた責任に触れ、「世界の科学者は、核兵器廃絶と世界平和に責任を負う。特に被爆国日本の科学者は、平和憲法を守る運動の先頭に立つ条件と責任がある」などと訴えた。

【石塚孝志】

上：常陽新聞（2006.4.24付）

左：毎日新聞（2006.4.28付）

### 4. 23 講演と集い アンケート回答一覧

## 軍事研究

# 私たちは「汚れた水」飲めない

## つくば研究所・大学9条の会が集い

科学者にとつての憲法九条を考える講演と対話のつどいが二十三日、茨城県つくば市で開かれました。筑波の研究所・大学9条の会が主催したものの。平和宣言(一九八八年)で研究の軍事利用を拒否した高エネルギー物理学研究所(KEK)の取り組みも報告され、科学者が交流しました。

元東北区水産研究所部 井智康氏が「科学者と憲法は、日本の科学者が軍国長で日本科学者会議平和法九条の価値」と題して主眼に加担した反省に立問題研究委員会代表の河井氏(右)が、戦後、日本科学者会

議が「平和、独立、民主主義、社会進歩」を掲げ、日本学術会議の「科学者憲章」が「科学の国際性を重んじ平和に貢献する」と掲げたことについて、この立脚点から、憲法九条を守る運動が科学

者に求められていると指摘しました。河井氏は「改悪も改革のうち」といった風潮に対し「改悪反対」とも、日本の針路を語り、将来の方向を示すことが重要だ」と語りました。

「『汚れた水も飲む』という言い方があるが、軍事研究は、研究者にとつてその最たるもの」と口火を切ったKEKの職員は、職員75%が賛同した研究所独自の平和宣言の取り組みを紹介。九四年、日本でKEK主催で加速器の国際会議を開催した際、平和宣言を示した結果、それから16%を占めた軍機関から資金を受けた研究論文が、4・5%に減ったといっています。ある研究者は「人々は戦争を望んでいない。憲法九条を守るために科学者が立ち上がるべき大きな輪が広がる」と発言しました。

### 1. 今日の感想

- ① 国土地理院山根さんの話に共感。緒方さんの的確な指摘に学ぶこと大。
- ② よかった。ただ、発言が少ないのが気がかり。
- ③ 考えさせられたことがたくさんありました。
- ④ 政治的な発言が規制されている公務員でも、専門分野として平和の問題について職場で発言してきた河井先生のお話に感心しました。
- ⑤ 良かったと思います。地図作製と軍事の関わり、それにかかわらざるを得ない立場の国土地理院の職員の話は良かったと思います。
- ⑥ 非常にわかりやすいテーマで良かった。特に地図の話は、もっと多くの人に聞かせたかった。
- ⑦ 各研究機関からの報告は参考になった。
- ⑧ 参加して良かった。特に河井先生がとられている深刻な問題を語るときにもユーモアを忘れない姿勢に共感を覚えた。
- ⑩ 常日頃、あいまいであったことが、いくつかはっきりした。

### 2 憲法9条についての考え

- ① 今日の話で、つくばの研究所の普段の仕事でも憲法9条が改悪されたら大きく変わってしまうことが分かった。
- ② ここまで9条が危なくなるとは、昔は想像もできなかった。
- ③ 年金生活者にとって、今の税金の使われ方に怒りをもっている。グアムの米軍基地建設に自分の税金を使って欲しくない(グアムは例えの話)。憲法が改悪されれば年金を削って軍事費へ・・・一層強くなると思う。
- ④ 憲法9条は権力者の暴走を抑えるために実際に機能していると感じる。

### 3 今後のテーマ・講師について

- ① 戦前の研究者が軍事研究に関わってしまった所を聞きたい。

やっぱり一度小森陽一さんかな。  
各研究所・大学での軍事につながる動き（国土地理院からの報告が参考になった）

#### 4 憲法 9 条を変えさせないため、どうしたらよいか

それぞれの考えを確認しあって、手をたずさえて進む。

今のところ、地道にアピールをすすめる。特に映像に重点をおいている。

こういう集いを多くひらく。

職場（研究所・大学など）単位の平和を求める声を集約した組織 - 運動の確立と併せて、地域での発言力を高める。労働組合、市民運動家、共産党、社民党に賛同する層の働きかけは必要と思います（基礎票として）。あまり深く物事を考えないで動く、非エリート層への働きかけは重要だが難しいかも（芸能人、タレント）を使う？

わかり易い言葉で一人一人に語りかける以外に近道はない。科学研究者らしくゆっくりやりましょう。

まず、現状を認識することを（政治状況も）、シニア研究者による戦後科学運動の継承、現場研究者への参加呼びかけ。

9 条の会の活動を広く知らせる。世代間を差異を埋める方策を考えることが必要でしょう。しかし、案はありません。

#### 5 研究所・大学関係 9 条の会への要望、意見など

期待しています。

筑波研究学園都市 9 条の会には賛同し、登録しました。予想よりも集まりが悪く、残念ですね。

9 条の会つくばと共催でも、文化、芸術的催しがあってもいいかな（近隣の 9 条の会にも呼びかけて）

去る 3 月に、市内の中学校が広島への修学旅行の前に、戦争体験者の話を聴く会を開いた。こうした機会は貴重なものですから、そうした企画があっ

たら、積極的に応じていくことをすすめます。

#### 各地の 9 条の会から届いた メッセージ

草津 Q 条の会 水野様から

メールありがとうございます。草津 Q 条の会の水野と申します。私も本職は半導体のエンジニア。大学時代（東大金属材料学科）は大洗の原研にも卒論でいってました。筑波での発足とてもうれしく思います。理系に頭でも知恵をしばっていきましょう！

理系研究者の低待遇は存じております。わたしの担当教授は現在京大のエネルギー研に異動、核融合関連材料の研究をしており、昨年見学させていただきましたが施設がわたしが学生の頃から変わりがなさそうなのにちょっとびっくり。

軍事費に金を使う余裕があったらいくらかでも日本の世界の明るい将来に向けての有効な使い道があります。そういう意味で筑波の皆さんが声を上げていただくのは大きな意義があると思います。

もちろんメッセージのせていただいて構いません。わたしも IBM の滋賀の工場で労組の役員をやっており雇用状況の悪化には頭を痛めております。ともにがんばりましょう。

#### 事務局だより

筑波研究学園都市研究所・大学関係 9 条の会のホームページができました。

[http://peace.arrow.jp/tsc/i\\_home.php](http://peace.arrow.jp/tsc/i_home.php)  
をご覧ください

「会」へのお問い合わせは

・ 305-0023 つくば市上の室 1829-1  
茅野徳治

電話・Fax : 029-857-6593

・ e-mail :

岡田安正

[yaokada@mti.biglobe.ne.jp](mailto:yaokada@mti.biglobe.ne.jp)

堀田博之

[zkodaly@nifty.com](mailto:zkodaly@nifty.com)